

# 真鶴フォレストエコツアー2014 秋のご報告

報告者:湘南 1000 年の森事務局 兼 NPO 地球の緑を守る会 湘南支部 奥平里美

日時 : 2014 年 11 月 16 日 日曜日 10 : 00 ~ 16 : 00

場所 : 神奈川県真鶴町



内容 : 「自然に心を開こう」「童心に帰ろう」「森の生態系を学ぼう」をテーマに行いました。当日はお天気にも恵まれて、気持ちの良い秋晴れの中、15 名が参加しました。

ケープ真鶴へ到着後、円になり大川さんからの挨拶と自己紹介、奥平の説明の後スタートしました。

浜辺で磯遊びやストレッチ体操をした後、潮騒歩遊道を通って、番場浦の浜辺に行きました。荷物番をして下さった大川さんが、可愛い小さな貝をたくさん拾っていました。





途中、スズメバチの立派な巣があり、皆注目！浜辺では親子がスウェットスーツを着て、モリを使って捕まえたウツボに感激しました！

少しお尻が痛いけど削られた丸い石の上にビニールシートを敷いて、皆持って来たお弁当を広げ、歌ってから美味しくいただきました。海面が宝石みたいにキラキラしていました。奥平家の「どんぐりコロコロ♪」はいかがだったでしょうか？（笑）



お昼の後のどんぐり拾いでは、スダジイの実を食べ、ガイドの十河さんから説明がありました。落ち葉や分解者の大切さを知りました。ガイド兼カメラマンの森本さんは、立派なスダジイの幹の太さを測ってくれていました。すごい高樹齢かもしれません！





そのまま、ガイドの原さんの説明から、森林歩遊道に入りました。何度も真鶴を歩きまわっている原さんは、一言、一言、分かりやすく皆真剣に聞いていました。

際限ない程に、大空に向かって高く真っ直ぐに伸びる森に圧倒されました。江戸時代に植えられた、樹齢300年の黒松林、樹齢150年のクスノキ。土地本来の木であり、漁師に保護されてきた



スダジイ林。手を伸ばせばすぐ手が届く大自然。聞こえてくる鳥のさえずり、海の波音。五感が浄化されました。

正しくこの日は、自然と人、人と人が地球村大家族の絆を取り戻した1日でありました。そして、愛する湘南を守るために、湘南海岸に森の防潮堤「湘南1000年の森」をつくりたいと決意した1日でした。

最後のケープ真鶴でのお茶会もあっという間で、真鶴に別れを惜しむように帰路につきました。

●ガイドの森本さんが、素晴らしい写真をたくさん撮って下さいました。ありがとうございました！



奥平里美